

第八回 こども教育サポート賞 受賞紹介

学校支援と地元の活性化を目指して

古津賀第二団地区会 代表 森本 宏

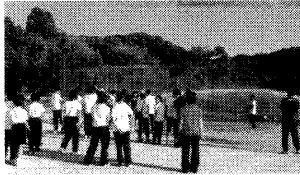
古津賀第二団地区会（シルバークラブ・婦人会・婦人防火クラブ・自衛消防隊）は、中村養護学校が平成2年に地域交流活動教育の研究指定を受けたことを契機に、交流活動を始め、以来20年以上活動しています。

当初は、餅つき大会、スポーツ交流、夏祭り、クリスマス会などのレクレーション関係が多く、地域の人や、青年団が中心となって活動を行っていました。

現在は、地域の美化活動として、古津賀駅の清掃、駅花壇の整備、公園の清掃、寄宿舎行事の夏祭りでの交流、また避難訓練として、地震津波対策避難所運営合同研修会、自衛消防隊による放水訓練、夜間避難訓練など様々な活動を行っています。また、本年度は中村養護学校体育館が福祉避難所としての機能を整える為の研修会を地元と共に実施しています。



地域の人々との交流花壇の手入れ（古津賀駅）



第二団地自主防災組織の人々との放水訓練

この様な取組みをとおして、障害のある児童生徒の理解にもつながっており、子どもたちを支える大きな活動支援となっています。

（高知県立中村養護学校推薦）

地域の活性化と次世代を育てる

紙芝居サークル「もとやま」代表 横山 幸男

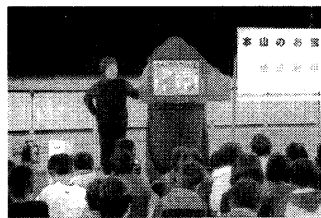
平成15年に本山小学校で、昭和初期からの紙芝居約700点が発見されました。この貴重な地元の財産を生かすべく、紙芝居サークル「もとやま」が誕生しました。ボランティアと教職員が協力し、整理・修理等を行い、現在は5名のボランティアの方が、毎月の学校訪問で上演するだけでなく、本年度で7回目を迎える「紙芝居まつり」を開催し、地域の方々にも公開し、楽しんでいただき、地元の活性化につなげています。

本山町は、文化・花の町を標榜しており、この紙芝居サークルの活動は、子どもたちの読書活動の推進、文化活動の活性化に大きな役割を果たしています。

平成16年は、7回の公演で参加者208名であったが、平成23年には79回の公演を行い、参加者2、191名と7年の間



本山町の桜図書館オープン記念での紙芝居実演



本山小学校紙芝居まつりでの実演風景

に公演回数・参加数ともに実に10倍以上となっており、地域活力の大きな源となっています。

（本山町教育委員会推薦）

土づくり・花づくり・人づくり

福吉生雄・典子

平成20年5月に、伊野南小中学校南側の荒地に両校児童生徒や保護者・地域の人たちが協力し、「花公園」がオープンしました。

福吉生雄・典子夫妻は、伊野南花公園のオープンをきっかけに、草花の苗や球根などを提供し、児童生徒の花づくりに関わっています。

伊野南小中学校では、全校的な活動として伊野南花公園整備活動を教育課程の中に位置付け、年間をとおして全学年が美しい花を咲かせる活動に取り組んでいます。

子どもたちは、花を育てることをとおして、土いじりの楽しさ、花の美しさ、友人と共に汗を流す勤労の喜びや大切さを学んでいます。



「大きく育てよ」と願いを込めて作業中



植え付け前の授業風景

論のこと、福吉生雄・典子夫妻の献身的な支援の賜物といえます。

(いの町教育
委員会推薦)

